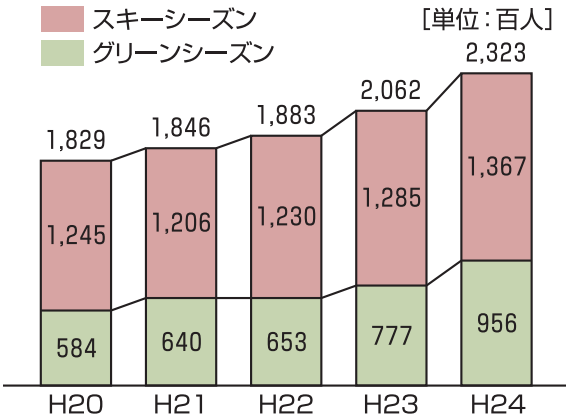


富士見パノラマリゾートの経営状況をお知らせします

問 役産業課 商工観光係 ☎62-9228

(1) 来場者の状況 ～スキー・グリーンシーズンとも順調な増加傾向～



グリーンシーズン
前年比123%
多くの観光客で賑わう
入笠すずらん山野草公園

スキーシーズン
前年比105%
首都圏から近く家族連れ
やリピーターで賑わう
ゲレンデ



グリーンシーズンは入笠すずらん山野草公園の充実、入笠湿原、お花畑、入笠山へのトレッキングなどの増加により前年比123%となりました。

スキーシーズンは早期スキー場オープンに加えゲレンデコンディションの確保により、序盤は笹子トンネル事故の影響を受けたものの、2月以降の復調により前年比105%となり、スノーシーズンの来場者が5年ぶりに13万人を突破しました。

(2) 決算の状況 ～売上の増加により健全な利益計上～

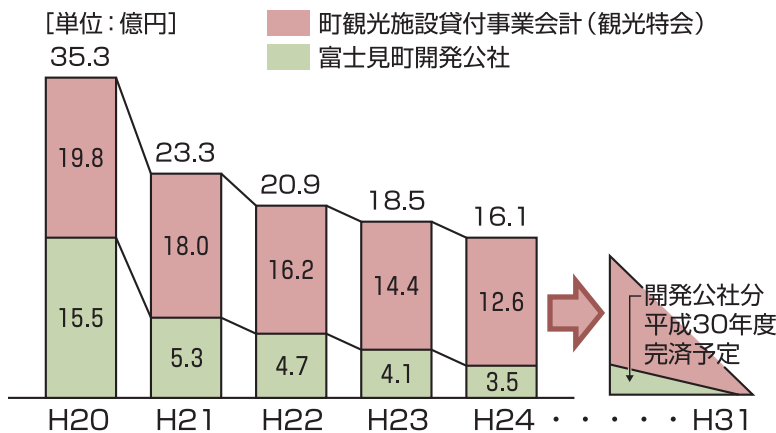
[単位: 千円]

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
営業収支	676,674	671,351	675,328	722,464	787,318
営業費用	568,232	570,271	685,406	630,131	638,424
営業利益	108,442	101,080	※△10,079	92,333	148,894

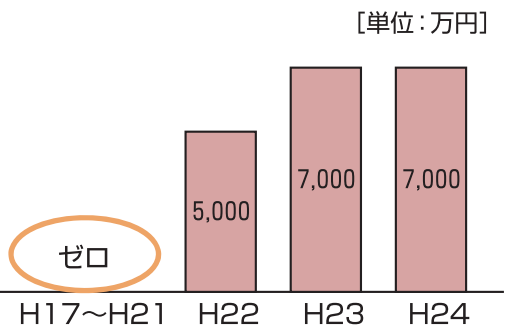
営業外収支は除いています。
※平成22年度から町への賃借料の支払を再開(参照: (4) 実質的な一般会計への貢献度)したことにより、決算において賃借料を営業費用に計上しているため、営業収支が赤字となっています。

法律改正により平成25年4月から開発公社は一般社団法人に移行しました。
パノラマリゾートは、町の支援を受けながら総体的には売上の増加により連続して健全な利益を計上しています。

(3) 町・開発公社連結借入金の推移 ～再建計画により返済中～



(4) 実質的な一般会計への貢献度



■観光特会返済分 平成14年、15年度に上下分離方式による資産所有形態の見直しにより、観光特会が開発公社から資産買取りを実施した際の起債返済分

■開発公社返済分 (平成21年度に経営改善のための町が開発公社へ10億円の大型貸付を実施)

観光特会、開発公社とも、計画どおりに返済を行っています。

※上記金融団への返済後、平成32年度以降、開発公社から町への賃料・貸付金の本格的な返済計画がスタートします。